

子供の才能を伸ばし、育てるための支援を  
— 東京都で始まる未来 —

川崎由起子  
東京ウエストインターナショナルスクール校長



# ギフテッド (GIFTED AND TALENTED STUDENTS) とは

## 連邦初等中等教育法 (*The federal Elementary and Secondary Education Act*)

*“Students, children, or youth who give evidence of high achievement capability in areas such as intellectual, creative, artistic, or leadership capacity, or in specific academic fields, and who need services and activities not ordinarily provided by the school in order to fully develop those capabilities.”*



- ・生まれつき突出した才能や頭脳を持った生徒・子供・青年  
(知性・創造性・特定の学問・芸術性・運動能力・リーダーシップ)
- ・才能を十分に発揮させるために、学校が通常提供しないサービスや活動を必要とする生徒・子供・青年

日本には法令上の定義はないが、文部科学省では「特定分野に特異な才能を持つ児童生徒」について議論が行われた

# アメリカでは

公教育 : Gifted education (also known as gifted and talented education (GATE) )  
各州によって予算や内容は異なるが、例として以下のような形態

学級内で	コンパクトニング	既習の内容を確認し、それらは教えない
	エンリッチメント	先に進んだ教材などを提供する
	プルアウト(1)	一部のクラスのみギフテッドのみで過ごす
	プルアウト(2)	近隣の高等教育機関へ移動し授業を受ける
	クラスター	少人数で一日中過ごす
学級を超えて	飛び級	自分の学年より上のクラスに所属
	ギフテッドのクラス	ギフテッドだけのクラス、特別なカリキュラム
	ギフテッドの学校	ギフテッドだけの学校

# ギフトッドの子供とは カリフォルニア・ヌエーバスクールでの生徒の例

---

## D・Kさん(米国籍)

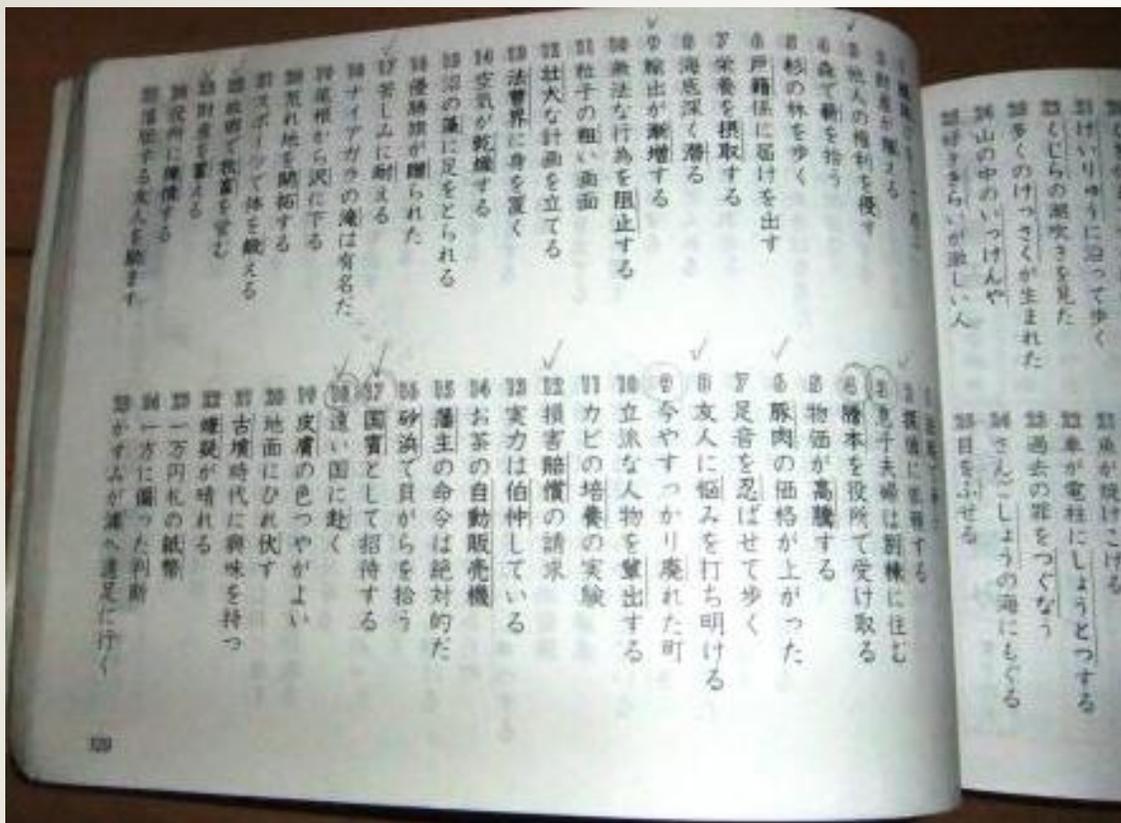
(写真は私が初めて出会った頃)



- ・数学とピアノで類まれなる才能を発揮
- ・シャイで人付き合いが苦手
- ・小学校途中まで福岡のインターナショナルスクールに通う  
授業が簡単すぎてつまらなかった。  
得意な数学を上級の学年のクラスで学んでいたが、  
周りの子ができない問題を簡単に解いてしまい、  
いじめにあう。
- ・ご両親の決断で、8歳でヌエーバに転校

## 又エーバでは、 どんな子供だった？

- ・ピアノコンクール・アドバンス数学のクラスを履修
- ・学校では英語で授業を受け、家では中国語で会話。
- ・私とは日本語を学習し、1週間に1回の授業だけで、この量の漢字を習得していった。



# D・Kさん その後

---



- 2008-09: ザルツブルク・モーツァルテウム大学へ留学
- 2009-10: Hochschule für Musik, Theater und Medien Hannover (ハノーファー音楽演劇大学) 留学
- 2013-15: The Juilliard School (Master of Music)  
全米一番の音楽院でピアノ演奏の修士号
- 2013-15: Columbia University (BA)  
アイビーリーグと呼ばれるアメリカのトップ校で脳科学の学士号
- 2020-22: Harvard Business School (HBS)
- 現在はロンドンで金融関係の仕事についている

# この生徒が社会で活躍できた要因

---

- 保護者がギフトを理解し、応援
  - ・日本でなく、海外で教育を受けさせるために移住
- 才能を存分に発揮できる環境
  - ・仲間の存在
  - ・学業・運動・芸術などの才能を存分に発揮できる教育機関
- 社会で生きるためのトレーニング
  - ・SEL (Social & Emotional Learning)=社会的・情動的学習の受講

# SEL (SOCIAL & EMOTIONAL LEARNING) とは

---

## SELを学ぶ必要性:

SELは、生徒が自分と他人を理解し、生産的に感情を管理し、他人に共感し、健全な人間関係を築き、目標に向かって努力し達成し、責任ある決断を下し、回復力、自信、幸福感を育むことを教えます。

自己への気づき (SelfAwareness)

他者への気づき (Social Awareness)

自己のコントロール (SelfManagement)

対人関係 (Relationship Skills)

責任ある意思決定 (Responsible Decision-Making)

# 日本における子供達の現状

---

# 子供達は生きづらさを抱えている

---

## 頭は大人だけど、心と体は子供

- ・特定分野についてはとても優秀だが、クラスメイトや先生と関係性が築けない

## 「個性」が教室では「はみ出した子供」に

- ・集団生活に適応できず、教室の進度に合わせることに苦痛を感じる
- ・教員も、どう対応していいのかわからず、悩みを抱えている

# 学校では

---

課題がすぐ終わってしまい、  
先のページまで進めると、  
先生に「消しましょう」といわれる

体育の時間なのに、  
一人で本を読み続ける

探求心が強く、  
先生を質問攻めにする

授業がつまらないと感じると、  
遊んだり、他の子にちょっかいを出したり、  
落ち着きのない行動をとる

他の子に問題の答えを教えたり、  
先生の間違いをみんなの前で  
指摘したりする

# 保護者も悩みを抱えている

---

自分の子供を認めてあげたいけど、  
他の子供たちとどうして違うの？

葛藤を抱えながらの子育て

不登校になってしまったのは、  
自分の育て方が悪かったのか？

「〇〇ちゃんは賢いから何を悩むこと  
があるの？いいですね」

# 現 状

- **現在、特異な才能を持つ子供に対する公教育のサポート体制はない。**
  - クラスで馴染めず不登校となるケースも。
  - 保護者や教員が、子供達をどのように扱ったらいいのかわからず悩んでいる。
  - 学習障害との併発のケース※については、「福祉」のサポートが中心である。 ※このようなケースは、2E(Twice-Exceptional)と呼ばれている。
- **日本では特異な才能が均質化されてしまうので、海外に流出していつてしまう。**

結果として、国益を損なっている

# 本日お伝えしたいこと

---

- 子供達一人ひとりの才能に気づいて、伸ばして欲しい
- 子供達に、人とうまく生きていくことを学ばせて欲しい
- 保護者や教師へのサポートをして欲しい

**ご清聴ありがとうございました**